

堂谷津の里 自然だより

2020年 12月

2020. 12. 1

散り落ち葉を踏みしめながら歩く道、彩られた景色に華やかさはありませんが心が癒されます。コロナに明け暮れた 2020 年も最後の月となりました。春までじっと我慢の季節到来、動植物たちは思い思いに冬支度。小春日和の暖かな日ざしがありがたい初冬の里山です。



リュウノウギク

落ち葉を踏みしめながら・・・ 小春日和の里山歩き。



サンショウ



クサギ



ノササゲ



トキリマメ



ジャノヒゲ



ヒヨドリジョウゴ



カントウマムシグサ



マンリョウ



ヤブコウジ



ナンテン

木の実・草の実・生きものたち・・・ たくさんのお会いがありました。



キタキチョウ



ウラギンシジミ



キタテハ



マユタテアカネ



オオアオイトトンボ



コバネイナゴ

<季節メモ>

冬の猛禽 ノスリ



ノスリは冬になると里山でよく見かけます。色は褐色系、首が短く寸胴、翅も丸くて良く見ると可愛い姿。オオタカやハヤブサのように俊敏に飛び回って他の鳥などを食べることは少ないようで、小動物のネズミや昆虫を捕って食べます。農作物を害獣・害虫から守ってくれるので「農地の守り神」とも言われているそうです。

写真・編集：晝間